

■ 開幕半年前日本館プレス発表会を実施、展示概要が決定

ミラノ万博の開幕まで残すところ6カ月となり、11月5日、日本館の展示概要等に関するプレス発表会を開催しました。

日本館の展示テーマは「“Harmonious Diversity”を巡る旅」。“食を巡る遙かなる旅”の体験を通して、日本の農や食、食文化の多様性を来場者にお届けします。展示エリアは日本館の1～2階に位置し、プロローグと5つのシーンで構成されます。五感に訴える演出、インタラクティブな体験、ライブ・パフォーマンスショーなど様々な手法を用いて皆様にお楽しみいただきます。

内藤純 日本館展示プロデューサーからは、参加クリエイターと「最強のチームが一丸となって、日本館の来場者に最高の感動体験を提供したい」との意気込みが述べられました。

また、本発表会では日本館イベント広場にトップバッターでご参加いただく裏千家今日庵業躰（ぎょうてい）奈良宗久様より、イベント内容について発表いただき、「日本のおもてなしを感じてもらいたい」と参加への期待が示されました。

なお、展示概要については次ページ以降または以下のURLをご参照ください。

- 日本館公式サイト（日本館の展示）
[<http://www.expo2015.jp/about/exhibition/>](http://www.expo2015.jp/about/exhibition/)

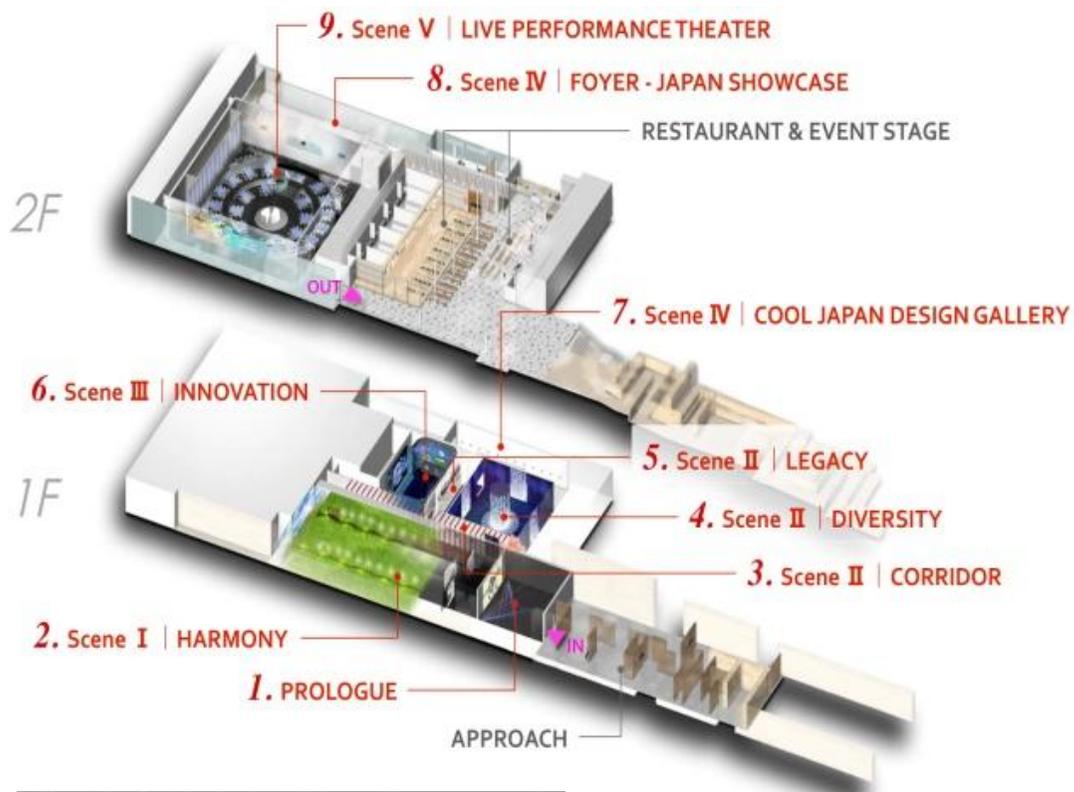


展示イメージ (Scene I HARMONY)



記者発表会の様子

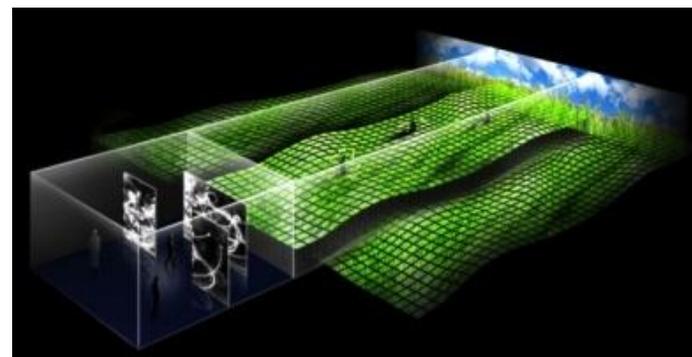
■ 日本館の展示①



Scene I HARMONY

● 自然と寄り添い、多様な恵みを育む日本の食の産地

多雨・多湿な気候で急峻な土地に切り拓かれた日本の水田は、水をその土地に留め、地表を水が覆うことにより、豊かな植生と生物多様性を保持する国土を生み出しました。そして、人びとはそこから食の恵みを得ると同時に、洪水や渇水など、時に災いをもたらす自然をも治めてきました。このような営みを、自然と共生する日本の農林水産業として、豊かな生態系が維持されなければ生息できない「コウノトリ」をシンボルに紹介します。



Scene I HARMONY



Scene II DIVERSITY

Scene II DIVERSITY

● 日本の農と食、食文化の多様性、さらなる拡がり

世界には様々な農業があり、それに応じた多種多様な食があります。また日本でも同様に、気候や風土に応じて各地域で独自の農と食、食文化が生まれ、世界からも学びながら、さらなる拡がりを見せています。このゾーンでは農と食、食文化に関する1000を超えるコンテンツを一望することで、世界と日本の“多様性”を実感していただきます。

■ 日本館の展示②

Scene II LEGACY ● 未来につながる伝統の知恵と技。日本食は「未来食」

「一汁三菜」「発酵・天日干し」「出汁・うま味」「口内調味」「地域や季節に応じた多様な食文化」など、古来から日本食に込められた様々な知恵と技が、普遍的な価値となって、地球上の人びとの健康的な食生活に貢献する「未来食」となることを訴求します。



Scene II LEGACY



Scene III INNOVATION

Scene III INNOVATION ● 地球的課題に対し独創的に取組む「日本のクリエイティブ・ソリューション」

世界の様々な食料生産や食生活を、互いに認め合い尊重しながら、独創性に富んだ取組みを行う日本の姿勢を示します。その中で、農業や食の画一化、食料の偏在化と栄養バランスの偏りなどの地球規模の課題を共有し、その解決に向け、農林水産業と地域社会に根ざして人びとの生活を向上させる協同組合組織の確立、栄養バランスに優れた伝統的な日本型食生活、自然と共生する持続的な農業生産の取組みなどを提案し、国境を越えた食と食料生産支援の国際貢献や科学・工学など分野を越えた先端技術なども紹介します。

Scene IV COOL JAPAN DESIGN GALLERY & JAPAN SHOW CASE ● 伝統と革新がもたらす、魅惑のクールジャパン

日本の食文化では、四季折々の食材や料理に合わせた食器も大切な役割を演じます。和食器の形やデザイン、それを作り出す伝統のワザが現代にも伝承され伝統的工芸品として日常に使われています。このゾーンでは、新進気鋭のアーティストによる感性を伝統で培われた匠のワザにより表現した和食器や、さらには、マンガ・アニメーションといったエンタテインメント、ファッションなどを紹介し、日本の伝統・文化やライフスタイルの魅力を“クールジャパン”として世界に向けて発信していきます。

Scene V LIVE PERFORMANCE THEATER

● 食卓から始まる人びとの想い、絆。日本食は世界をつなぐ「地球食」

食に関わる全ての人びとや自然の恵みに対する感謝の気持ちを表す言葉「いただきます」や「ごちそうさま」。この言葉を共有することで、家族の絆を深め、友情を育み、コミュニケーションの輪を拡げていきます。一体感のある観客参加型のショー演出を通して、日本食が、世界の人びとを笑顔でつなぐ「地球食」となることを体感して頂きます。



Scene V LIVE PERFORMANCE THEATER

■ アリタリア航空とエティハド航空、ミラノ万博特別塗装機を公開

ミラノ万博のグローバル・オフィシャル・キャリア(公認航空会社)であるアリタリア航空とエティハド航空は、ミラノ万博の特別塗装機を公開しました。機体にはミラノ万博と両社のロゴが表示されています。万博開催期間中、世界中から約2千万人の来場が見込まれていますが、そのうち3分の1は飛行機でミラノを訪れるものと想定されています。



■ 無人飛行機が撮影した万博会場の写真・動画を公開中

ミラノ万博公社では、電気通信事業者テレコム・イタリアと協力し、約100万㎡もの広さの万博会場上空から「ドローン」(小型無人飛行機)で撮影した建設状況の写真や動画をミラノ万博公式サイトや特設Facebookページで公開しています。来年4月の工事完了まで現地の進捗を配信予定です。



□ ミラノ万博公式サイト (Belvedere in città)
<http://www.expo2015.org/en/explore/exhibition-site/belvedere-in-citta>

■ 「シルク・ドゥ・ソレイユ」、ミラノ万博特別公演の開催が決定

ミラノ万博公社は、世界的人気を誇るエンターテインメント集団「シルク・ドゥ・ソレイユ」がミラノ万博特別バージョンで公演を行うことを発表しました。「地球に食料を、生命にエネルギーを」という万博のテーマに合わせた特別演目「アッラヴィータ! (Allavita!)」には、イタリア内外のアーティスト50名以上が参加。万博開催期間中の2015年5月6日～8月23日、万博会場内オープン・エア・シアターで公演予定です。



■中国で全8都市を縦断するイベント、「ミラノ万博ロードショー」がスタート

中国国内でミラノ万博を盛り上げるため、中国全8都市を縦断するイベント「ミラノ万博ロードショー」が始まり、スタート地の北京にてオープニングセレモニーが開かれました。ジュゼッペ・サーラ ミラノ万博公社代表は、「この取り組みを通じて中国の人々に万博を知っていただきたい」と述べました。



■ミラノ万博公社関連ニュース（他館情報）

・フランス館が起工式を実施

フランス館は9月29日、起工式を行いました。フランス館のテーマは、“Different Ways of Producing and Providing Food”。パビリオンは短期間で使用されるため軽量な木造建築となっており、消費エネルギーの削減、廃材のリサイクル・精製工程に配慮した、再利用可能な木材を採用しています。3,592㎡のスペースにて出展予定です。



© CMC / XTU / STUDIO A. RISPAL / SIMONIN Frères

・エキスポゲートにて、アンゴラ館を紹介

10月4、5日にエキスポゲートで行われたイベント「Weekend dei Paesi (Weekend of the Countries)」において、アンゴラがパビリオンの紹介を行いました。アンゴラの伝統舞踊と音楽、文化や歴史が紹介されたほか、伝統料理も振る舞われました。



※本通信に掲載の記事・写真・イラストは、日本館がミラノ万博公社（Expo 2015 S.p.A.）等の許諾を得て使用しています。